

# Voice of Yokosuka



Vol. III

No. 1

1957

# The Voice of Yokosuka

Vol. III. No. I.

—1957—

## 1957年度役員(32年)

代表者 JA11V 逸見新  
会 計 JA1AVL 稲田順一  
編 集 JA1OG 石黒忠久



## ※一回見学会(初声監視所)

1957年5月12日

我々のもつともコワイ(イヤコウクナイ人多いのだが)所見録記

一騎塚のバス停留所に集まる予定であつたが先へ行かれた方もあり。途中で雨が降り出して震家の地下室にヒヤンした人もありでトランシーバーの必要性を痛感した。12時頃から見学。オシロイでの同測、波形監視、や針数放電管での同測がありこの所内の標準器振器も斬らしい機械がずえつされた。検査や監査のRXは皆のもつとも熱心に見学した所ではガツガツして掛て廻るものもあつた様にテレコがあつて2台のRXに入れたシグナルはスグろく音を小くしよう。TXは平塚の大型TXをリフトコントロールするVHFのとHFの可搬型のまじいのとがあつた。工作案ではパワーによたれを流し屋上へ登つて記念サツエイ。風が強いのでHi、グレシ記念写真がとれてしまった。場案内下さつた折員の方にあつた御礼申しあつてスチバラで帰途についた。皆夢中で見学した食事をワスレてしまつたのだつた。(記者)

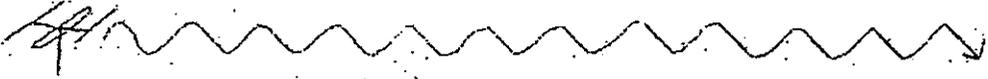
# JU生。 ツマラナイ、オハナシ

VOYの記事は大変為になり、TXの話やRXの話が、沢山書かれて  
いる。これは大変面白い事であるがしかし月刊雑誌の中にも漫画あり、カ  
ラシあり、である。そう言う意味でこのVOYにも面白いの欄とかとほかにオハナ  
シが読めると称する意があると思ふ。この話は何んな面白くもめては  
ないが先がは一筆啓上 ツカマツル?

八月の或る夜、一日の疲れをいやすが如くイスにもたれ私は最近出来た  
かりのHi-Fiアンプから流れて来る音楽に耳を傾けていた、生半く私に声  
が響くのであるが…… 目もつゝ私は思ひ出す、余が「学生」のた  
き、その日は晴天だった。私は心のキウキウして歌を唄いはじめた、母が芳  
家の小母さんがおちゆいで洗濯物をしまっている。これはイカと私の歌声を  
雨蛙の声と間違へたのである、ホト一のようなウソの話!

そんな声の持主でも借金取りと、オヤジのお説教を聞く以外は聞くのは  
なんでもよい大好きである。 ナニワ節、狂言、ドクイソ、落語は言うに及  
ばず。カッテ初床に居た頃は一日中ラジオのSWを入れたほかに料理  
の話からニキビの取り方果は美容体操まで覚えてしまった。大分  
茶置きが長くなったが深夜放送も終わったのでアンプを消して床の中へ  
入った。勤の疲れが出たか私は鼻提灯を幾度も点けた消したり、  
しなから何時かグツスリ寝込んでしまった。所が突如「カサツ」と  
言う物音に私は目をさました。風音一つない静かな夜である。私は  
ゴツと耳をすました。又かと同じ位の音をさせて雨戸が動いている  
私のドキはムネムネして来た、意いって枕元にあるメガネを掛けた。小  
学生の時から眼の悪い私はこれがないと歩けなかつた、よく音のす  
る方を見れば外は月が出ていり、雨戸の裂け目が分明に見える  
ゴツと見てよく見ると月光が何物かに時々遮えぎられる。泥棒だ!  
私は冷汗をかいた。何で又ヨリにヨツテ俺の所へ…… 階下にはオ  
ヤジが寝たらしい声も聞いているのに…… とその時程泥棒らしき  
物をうらめしく思った事は無い、しかし一大勇気の心を失って捕ま  
やせ! と承て今度は何うかが様子うかがった、相手は雨戸に近  
寄つたらしく月明りは見えなくなった。私は床の間にあり鉄のバネ  
を手にした。しかし暗やみではうまくない相手より先に一本取らなけ  
れば、 そうだ「私の部屋の電灯は蛍光灯だ。SWを入れたら点  
灯するまで又妙位かかる」と、これは「午の事と一物位で済ませ

同時に雨戸は又小さな者をかりかたと立てた。うん——もう一刻もユウヨはナラン私は電気のSWを入水鏡のバイツを振り上げ寝息のよりに床をどび出して硝子戸を開け雨戸に手をかけた。と同時に管光灯がパフとついた。夕仏コンスタントのKである。"馬鹿野郎"と叫んで私はかたかりした。あの雨戸の所に居たものは私が何時も可愛がっている三之助と云う猫だった。彼は雨戸と硝子戸の間に隠れていたのだが夏とは云え冷える所に隠れていたのかサスが毛皮の縮居も僅して来たので用を足した出ようとして出口をさがしたが硝子戸も雨戸も開いていりかたで仕方なく破れた所から出ようとする戸をかたかたさせたのだった。しかし原因は何にせよ、人間様を驚かせた罪を不届にしておくわけにはいかず、"ゴゴ"とこの"を"鳴らして来る三之助の首をつかま之鼻を畳にゴングン彼はビツクリして逃げた。ホットして床の中へ入った私はよくよく考えた。百箇は一見に如かず！ウソの称な木球にあった。オハナシ…… オソマツ。



### 広告練。

★ 三尾棒御用心！

特にハイパワー一音やシヤツクを多く

脚もろの御方。オカネのアリアマツテイルカダ。

そなえあれば

ワレイナシ

剣道指南 四段 JAIAYL。

★ 譲る！

キヤパニテイリレ一及び光電リレ一

完全動作品

盗難予防に最適

swL  
JAI-800。

★ 猫の仔さしあげます！

下ノ中ニネズミガ巢を作らぬ為

トテミケノ上等品保証附 JAIAYL。

# 最近のクラブ員各局

JAIEH。 一級局ですがトランシーブで菊池の1JGとはまだ未交信のようです。最近50MCのトランシーバーが去来しました。

JAIES。 最近あまりあのハイパワーのシグナルが聞えない様です。144MCはどうか？ 艦船ゲームでQRU?

JAI EI。 144MCはイカですか、弟さん？ 光雄さんはSWL。JAI-1204としてものは3カード集めてしょうか。

JAIIV。 会長さんは2.5~7MCも50MCもQRU。毎月の日曜スケジューリングにも皆出席。ササガは先生ですな。バックイブがよく入ります。

JAI EU。 813から出るシグナル一寸も聞えませんが、今の木村は先はなんて言うのがおいて下さい。

\*JAIKH。 探知されましたが、その中にVHFでカムバックしたい。OIさんのスーパーローカルに引越して来ました。

JAI OG。 口先だけは何だかんだとやがていい局ですが、50MCはイツタイ、120本免になる人ですか。ホーカルのトランシーバーを作ったくせに。

JAI OI。 たまに聞える位ですが、2E3Lと3キキのユツビはいいか？ ですが、やはり釣の方がいいかな。

JAI SP/BGP。 一人でコール2つもついています。SPはVHFでBGPは35~40MHz移動です。クルダ/BGPでの話。雨生の子キキがたまたまたまたまで言うのは。

JAI AFX。 あまり聞えない。イヤ、ワカラナイです。2級の局には早い。レポートのCWがね。

JAI AFY。 まだ3キキがね、電調器はPPに取った様ですがね。深夜マクもとのRXを一寸入ると聞いて聞えています。テレコ(アサ)を買って、たまたまのQSOも皆とってら探りますから、4エウイ下さい。

\*JAI AJT。 叩きかいて探知されましたが、セネラルの新研電室が、叩きかいて探知されます。VHFあたりにおも、パワーさめるのではありません。



JAIBBN.

JA7FD と 2 コールをもらっています(7の方はやめたのか)
テレコについて色々音楽や人のQSOを口クオンしてはるようです

JAIBIR.

JA4HA と コール 2 コールあり(コールソングではあつてはるが)
3.5, 7, 50, MC 各バンドに出演中です 832A のアマチュア

JAIBJO

2E26 で 7MC オンリー 船着の電監の中電波望帆窓内
からコワケない音が聞えてきます。

JAIBKC.

公卿の1町目46番地から7MCの電波が出るようです。

JA4FS/1

長井の方の県管住宅にうつり住んだからその中に予
備電があることでしょう。

JAI-1128

大島 平

長浦 3 の 43

JAI-1204

中野 光雄

馬塚 1 の 30

JAI-1230

安田 文男

選手市選手 361

JAI-1235

鈴木 令人

内川新田 1 の 597

JAI-1244

高村 剛

横浜市新奈川區沃渡31山口方

JAI-1343

吉田 昭太郎

選手市選手 339

JAI-1345

高崎 総男

” ” 289

JAI-1380

田中 明

” 久木 433

JAI-1394

月村 雅一

不入斗町 3 ~ 48

JAI-1406

臼井 義雅

津入町 2 の 32

JAI-1418

水谷 義雄

田浦泉町 104

JAI-1463

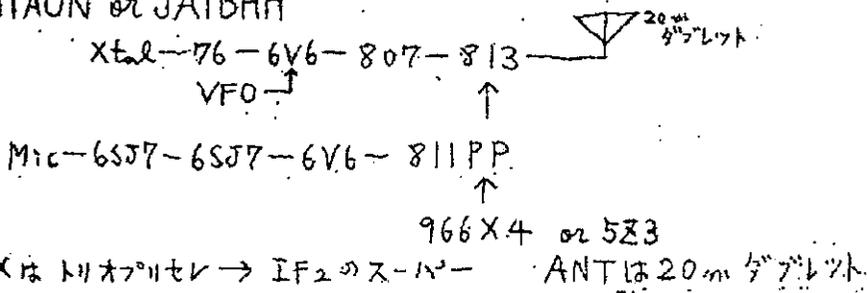
牧田 勝明

選手市選手 289

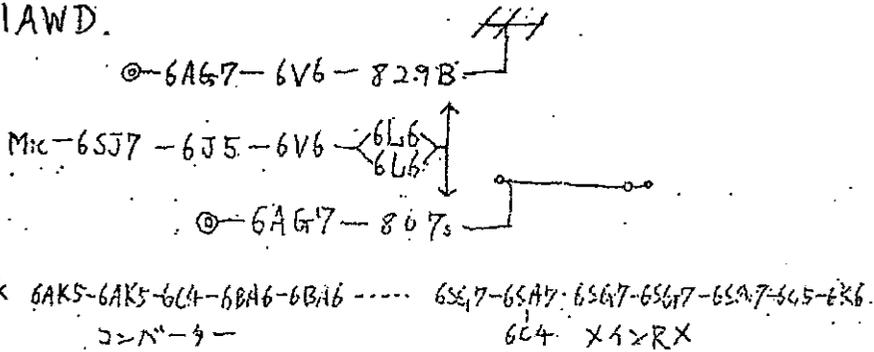
番号のないSWL

# 各局 サンド X ラインナップ の RX

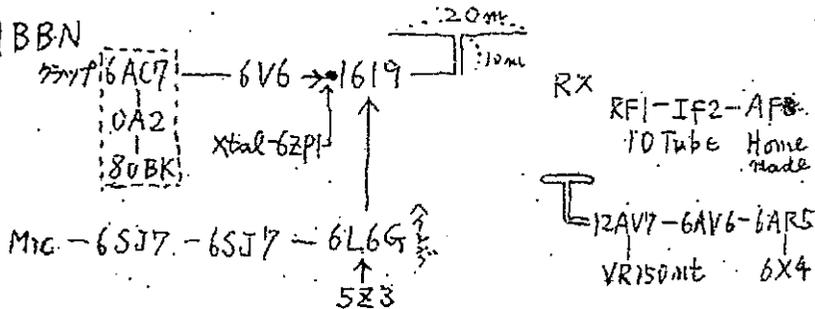
## JA1AON の JA1BHH



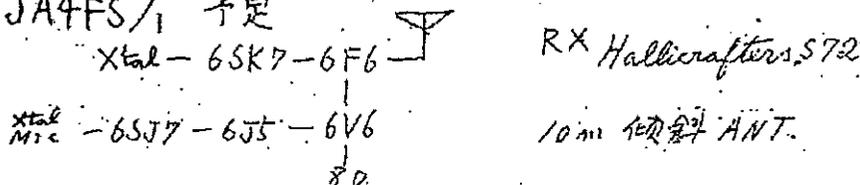
## JA1AWD



## JA1BBN



## JA4FS/1 予定



ニユ一ヌ

## ○VHFコンテスト(初五回)

50mc は 7月20日 2100 ~ 21日 1800迄

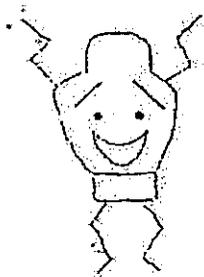
144mc は 7月21日 0900 ~ 1200の間

○第八回コンテスト7mcに1AVL 36位

## ☆ エマジエンシーコンテストの規約不十分

と、その後の採算の疑問(皆がコンテストを楽しまない)

昨年夏のエマジエンシーコンテストの規約に完全移動局と固定移動局の配算が4割ずついたのは当然のコトであるが、何が完全移動局の区別算は記してなかった。10Gやその他バッテリーで(蓄電池)で参加した局の採算は移動ではなく固定局の採算であったし50mcでは3エと1エでも算がもがったようだった。5月12日朝4月20日附で参加賞の水晶と縦向のある器は5月15日迄申出る様にIKS採算委員長から手紙があった。中で「乾電池でなければ完全移動でないのかどうか。又ルールを不十分な規約だったからと途中で公表もせず内部規程など作るより不十分なまま採算してコンテストに不十分だから費は一時的保留としていた方が皆分かる参加する気になる」とあると云う意味の返信を5月13日IKSの宛あてに発送した(氏は郵便局長) ところが(5月7日)にICAAのカマクラの前も固定局と一方的に採算された件についての手紙に対してIKS氏の返信に「人も5月15日迄に疑問の申立てがなかったら、委員会が採算の立場を了解したものと結構」とあり大変おかしな事だ。始めにはなかった参加費を合算して送ったのもヒネクテ考之小はモシケンともう人もあるでしょう。10Gは返信料10円を同封してIKS郵便局長へ出した手紙はどこ之行ったのかとシラベ始めました。入賞しなかった事や採算に不公平をなされたこと云う事は口々に言っている通り委員は一任したので「あつた申しませんか」皆がマカルク。コンテストに参加出来る様な採算強を作してほしいものです。



Yokosuka.